

## (公社) 日本給食サービス協会令和4年度事業計画及び同年度予算について

令和4年度は、引き続き協会の公益事業の3本柱である

- ① 食の安全・安心、健康等について、正確・適正な情報を消費者に提供
- ② 食中毒予防対策等の保健衛生等の普及、啓発、相談
- ③ 給食サービス従事者の人材育成等

を相互に関連して行うことで、国民の食生活の健全なる向上に貢献して参ります。

また、引き続き公益活動、社会活動に協会全体で取り組んで参ります。

### 1. 事業の推進

#### (1) 食の安全・安心、健康等に関する調査・研究、広報情報提供事業

- ① 一般消費者への情報提供について、食の安全・安心、健康の観点から、適宜情報提供に努めて参ります。

また、各種資格認定事業のお知らせや協会セミナーについてのご案内などについても適時にホームページに提供して参ります。

- ② 協会ホームページによる情報発信方法の研究を行って参ります。
- ③ 第44回フード・ケータリングショー（関係4団体の共催）を他団体と共催し、一般来場者（昨年度28,328人）に、協会の事業や取り組んでいる課題について、協会作成の冊子、チラシ等を配布し、情報提供に取り組んで参ります。

#### (2) 保健衛生等の普及、啓発及び相談事業

協会独自の各種マニュアル10本（品質管理マニュアル、リスク管理マニュアル、ドライ運用システムマニュアル、はじめての衛生の手引き、食品衛生ハンドブック（携帯用）、ノロウイルス発生時の対応マニュアル・事例集、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理要綱、HACCPハンドブック（携帯用）、HACCPの手引書）の普及に努めるとともに、保健衛生等の啓発及び相談に努めて参ります。

- ① 学校給食受託業務に関連し、広く学校給食調理従事者を対象に、教育委員会等とも連携しながら衛生関係の研修会を各支部単位で開催し、保健衛生等の普及、啓発に取り組んで参ります。

また、学校給食においては従事者の教育育成が特に重視されることから各支部単位で行われている学校給食調理従事者に関わる講習会・研修会について意見交換や情報共有を行い、講習会・研修会を推進して参ります。あわせて全国の自治体の動きや学校給食運営の現状を把握し、協会として柔軟な対応が取れるよう各支部との意見交換を実施致します。

- ② ノロウイルス感染症、新型インフルエンザ、食中毒等の予防対策ポスターを作成し、協会ホームページや受託給食施設に掲示し、消費者（喫食者）にも予防対策

のご協力をお願いするとともに、保健衛生等の普及、啓発に努めて参ります。

③ 環境問題に関する事業

令和3年度実績にかかる食品リサイクル法の定期報告（発生抑制目標値の達成状況を含む）に関するアンケートを実施致します。

また、食品ロスの削減の推進に関する勉強会（仮称）の開催について検討致します。

④ 優良給食サービス事業者・施設認定事業に取り組んで参ります。

(3) 従事者の人材育成等

ア. 資格認定事業

以下の①～③の給食サービス管理士等3種類の受講希望者に対しては、講習会場に出向き受講する必要がなくなるよう、特に遠隔地に居住する方々の負担軽減を図る目的で、令和2年度において、これまでの講習会（スクーリング）からeラーニング方式に変更し、自宅等においてパソコン、スマホなどによりインターネットのYouTubeに接続して、自由に学習出来るシステムを導入致しました。

① 給食サービス士資格認定事業

この事業は、喫食者（消費者）に安全・安心、健康に配慮した給食サービスを提供するために、給食サービス従事者の新人教育を行い、給食業務に携わる方は、集団給食とは何かを学んで頂くよう、平成19年度から実施しております。

《集団給食の法規と概論》《安全・衛生管理概論》《ビジネス（給食サービス）マナー論》《栄養・健康・アレルギー等の概論》の講義と50問の試験を通じて、給食サービス従事者として必要な基礎的知識を学んで頂くことで、消費者の食の安全・安心、健康に取り組んで参ります。

- ・応募の受付 6月上旬
- ・eラーニング講習及び試験日程等

詳細は確定次第協会ホームページでお知らせ致します。

② 給食サービス管理士資格認定事業

会社等の食堂における給食サービスの現場責任者等を養成し、お客様に安全・安心、健康に配慮した、より質の高い給食サービスの提案を行える人材を養成することを目的に、eラーニング講習及び通信学習（58日間、演習問題200問）

《教育・訓練》《人事・労務管理》《衛生管理総論》《HACCPと給食の管理》《販売管理》《販売サービス管理》《商品管理》《計数管理》《栄養・食生活》《店長のためのチェックリスト》を受講され、通信学習の成績を判定し、講習終了と認められた方は、学科試験を受験して頂く内容の事業です。

- ・応募の受付 4月中旬
- ・eラーニング講習及び通信学習 令和4年7月～8月を予定しています。
- ・試験日程等 詳細は確定次第協会ホームページでお知らせします。

③ 学校給食受託管理士資格認定事業

学校給食の民間委託化が進んだことから学校給食受託業務責任者の資質の向上を目指すとともに、学校給食受託業務を通じて児童・生徒の健康、食育及び食生活についての考え方を提案できる人材を養成することを目的に、eラーニング講習及び通信学習（58日間、演習問題150問）《学校給食の現状と課題・将来展望》《食育一食の教育とは何か》《学校給食受託者のための基礎知識》《学校給食受託者のための衛生管理の実践ポイント》《成長期の児童・生徒と栄養管理》《献立と食品構成・施設設備と衛生管理》《学校給食に関する法律・制度その他》を受講され、通信学習の成績を判定し、講習終了と認められた方は、学科試験を受験して頂く内容の事業です。

- ・応募の受付 5月上旬
- ・eラーニング講習及び通信学習 令和4年8月～9月を予定しています。
- ・試験日程等 詳細は確定次第協会ホームページでお知らせします。

④ 給食サービス士資格更新事業

給食サービス士は、関係法令や食を巡る情勢が年々変化していくことから、3年毎に更新を行うこととされており、今年度は平成22年度、25年度、28年度、令和元年度に認定登録（更新を含む）された方が対象となります。

通信学習（演習問題 50問）を解答して頂くことで、更新認定を行います。

- ・応募の受付 7月下旬～9月上旬
- ・日程等 詳細は確定次第、協会ホームページでお知らせします。

⑤ 給食サービス管理士資格更新事業

給食サービス管理士は、関係法令や食を巡る情勢が年々変化していくことから、3年毎に更新を行うこととされており、今年度は平成7年度、10年度、13年度、16年度、19年度、22年度、25年度、28年度及び令和元年度に認定登録（更新を含む）された方が対象となります。

通信学習（演習問題 50問）を解答して頂くことで、更新認定を行います。

- ・応募の受付 6月中旬～7月下旬
- ・日程等 詳細は確定次第、協会ホームページでお知らせします。

⑥ 学校給食受託管理士資格更新事業

学校給食受託管理士は、関係法令や受託業務を巡る情勢が年々変化することから、3年毎に更新を行うこととされており、今年度は平成19年度、22年度、25年度、28年度及び令和元年度に認定登録（更新を含む）された方が対象となります。

通信学習（演習問題 50問）を解答して頂くことで、更新認定を行います。

- ・応募の受付 7月上旬～8月下旬
- ・日程等 詳細は確定次第、協会ホームページでお知らせします。

⑦ 優良給食サービス事業者・施設認定事業

第30回令和4年度優良給食サービス事業者・施設の認定事業（マル適マーク）

を実施致します。優良給食サービス事業者・施設の認定は、優れた給食会社・給食施設であることを協会が証明するものです。

- ・募集 8月上旬～9月中旬
- ・詳細は、協会ホームページでお知らせします。

#### ⑧ 優良給食サービス事業者・施設認定更新事業

優良給食サービス事業者・施設は、経営状況等の変化があることから、3年毎に更新を行うこととされており、今年度は、平成16年度、19年度、22年度、25年度、28年度及び令和元年度に優良給食サービス事業者・施設の認定（更新認定を含む）を受けた事業者及び施設について、更新事業を実施致します。

- ・募集 8月上旬～9月中旬
- ・詳細は、協会ホームページでお知らせします。

#### ⑨ 高度化計画認定事業（HACCP手法支援法）の実施

「食品の製造過程の高度化に関する臨時措置法」（平成10年7月1日施行）により、協会は、農林水産大臣、厚生労働大臣から指定認定機関として指定されております。各企業がHACCP概念を取り入れたセントラルキッチン方式を導入し、高度な衛生管理と品質管理の施設・基盤整備を行う場合に調査の上、認定を行います。なお、HACCP法の適用期限は、臨時措置法（HACCP支援法）の一部を改正する法律（平成25年法律第59号）により、これまでの「高度化計画」に新たに「高度化基盤整備計画」を加えた形で、令和5年6月30日まで延長されております。

- ・申請は、随時受付

### イ. 講習・研修事業

#### ① 海外給食産業視察研修

給食サービス従事者の視野を広め、消費者（喫食者）に、より充実した満足感を感じて頂けるような給食サービスを提供出来るよう、海外における事業所給食、病院給食、老人福祉施設給食、学校給食等の給食現場を、従事者が肌で感じて頂く機会として、第34回海外給食産業事情の視察研修を企画し、一人でも多くの参加者を得られるよう、協会ホームページ等に掲載し、広く募集を行って参ります。

#### ② 協会主催のセミナーの開催

第44回フード・ケータリングショーの一環として、協会主催のセミナー（改善活動発表大会）を開催致します。給食現場における改善活動について、公募により発表企業を募集し、誰でもが参加できるように、協会ホームページで開催のお知らせをし、開催に取り組んで参ります。

また、総会時（令和4年5月19日）にトップセミナーを開催致します。

#### (4) 「心に残る給食の思い出」作文コンクール事業

協会の公益法人化を機に、公益事業の柱の一つとして平成25年から取り組み第9回

目となります作文コンクール事業について、引き続き普及活動を行うとともに、応募数増に努めて参ります。

#### (5) 給食業務安定継続物資販売事業

新型コロナウイルス感染症等の発生・拡大に伴い、給食調理等の業務に不可欠な物資である紙マスク、使い捨て手袋、消毒用アルコールの入手が困難となった場合等において、協会として給食調理業務に必要な物資の一括購入を行い、希望する会員への物資の販売を行う事業に取り組み、給食調理業務の安定的な継続を支援して参ります。

#### (6) 優良社員表彰事業

給食サービス従事者として、所属企業や業界の発展に寄与された方について、優良社員表彰審査委員会の審査により、「その働き・業績を評価し、優秀と認められたことで、今後の働く意欲と誇りを持てるよう」、今年度も優良社員表彰事業を実施し、従事者の労働環境整備に努めて参ります。

#### (7) 学校給食受託業務代行保証事業

- ① 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で、重要な役割を担っており、学校教育活動の一環でもあります。

このような学校給食の社会的責任の重大性に鑑み、学校給食受託業務について、火災、労働争議、業務停止等の事情により、受託業務を行えなくなった場合、協会が業務を代行保証することにより、児童生徒の学校給食の継続性を担保し、学校給食に万全を期して参ります。

さらに、学校給食業務代行保証事業の運営課題等に関し、整備すべき事項が提案されているため、各種提案事項や懸念事項を確認し、内規を作成すべきかなどの討議検討作業を行って参ります。

- ② 代行保証事業の推進

平成19年4月からスタートし、現在でも代行保証制度を検討している自治体からの照会が増加しております。今年度も引き続き、新規加入者が増えるよう取り組んで参ります。

- ・代行保証事業への加入申請は、随時受付

## 2. 委員会の取組課題

令和4年度の事業を円滑に推進していくために、7つの常任委員会で取り組んで参ります。なお、各委員会は次の課題に取り組んで参ります。

### (1) 調査広報情報委員会

- ① 一般消費者への情報提供について、食の安全・安心、健康の観点から、適宜

情報提供に努める。また、資格認定事業等についても情報提供を行う。

- ② 協会ホームページによる情報発信方法の研究を行う。

#### (2) 安全衛生管理委員会

- ① 協会独自のマニュアル等10本について、普及活動を進める。
- ② ノロウイルス等対策に関する啓発活動に取り組む。

#### (3) 環境技術委員会

- ① 令和3年度実績にかかる食品リサイクル法の定期報告（発生抑制目標値の達成状況を含む）に関するアンケート調査を実施する。
- ② 食品ロスの削減の推進に関する勉強会（仮称）の開催を検討する。

#### (4) 教育研修委員会

- ① 給食サービス士、給食サービス管理士、学校給食受託管理士の資格認定制度の整備（eラーニングシステムの運用）と普及活動に取り組む。
- ② 海外給食産業視察研修、トップセミナー、協会セミナー（フード・ケータリングショー）の企画及び実施を行う。

#### (5) 学校給食委員会

- ① 学校給食受託業務代行保証事業の運営課題等の検討を行う。
- ② 第9回「心に残る給食の思い出」作文コンクールを実施する。
- ③ 学校給食調理従事者に関わる講習会・研修会の推進と意見交換会を実施する。

#### (6) 企画委員会

- ① ウイズコロナの中で、会員会社のデジタル化の最適化に向けての研究（含協会事務局）を行う。
- ② 会員会社のSDG'sの展開の際の支援の検討（会員会社に対し、更なるSDG'sの展開に向けた取組支援の検討）を行う。

#### (7) 産学連携委員会

- ① スマートミール認証制度に関する情報収集と対応の整理を行う。
- ② 健康経営とスマートミールの連携内容に関する検討を行う。

### 3. 各支部の取組課題

#### (1) 北日本支部

##### ①支部会議の開催

令和4年6月17日（金）	メトロポリタン盛岡
令和5年2月予定	メトロポリタン仙台

- ②支部セミナーの開催  
令和4年6月予定                      メトロポリタン盛岡  
テーマ：検討中
- ③優良社員表彰式  
令和5年2月予定                      メトロポリタン仙台
- ④学校給食調理従事者に対するセミナー  
岩手県学校給食会主催の「学校給食調理員研修会」に参加  
時期：未定、場所：盛岡市
- ⑤支部独自の勉強会  
時期、内容：未定
- ⑥第9回「心に残る給食の思い出」作文コンクールの実施
- ⑦協賛会社との交流会  
令和4年6月、5年2月の支部会議に合わせて実施（懇親会）
- ⑧全国理事会の開催  
令和4年10月予定  
場所：宮城県下（秋保温泉）

## (2) 関東支部

- ①支部会議の開催  
令和4年5月26日（木） 東京都内  
令和4年12月予定                      場所未定  
令和5年3月予定                      場所未定
- ②支部セミナーの開催  
公益社団法人集団給食協会総友会との合同の勉強会  
時期、会場等は未定
- ③優良社員表彰式  
令和5年1月 本部の賀詞交歓会と合わせて実施
- ④学校給食調理従事者に対するセミナー  
一般社団法人関東学校給食サービス協会が実施する研修会と合わせて  
開催（東京、神奈川、千葉、埼玉、栃木） 令和4年7月～8月
- ⑤支部独自の勉強会の開催  
令和4年12月予定                      東京都  
勉強会内容：衛生関連講習会
- ⑥第9回「心に残る給食の思い出」作文コンクールの実施
- ⑦協賛会社との交流会  
令和4年5月、4年12月の支部会議に合わせて実施（懇親会、懇親ゴルフ）

(3) 中部支部

①支部会議の開催

令和4年6月予定

名古屋観光ホテル

令和5年2月予定

名古屋観光ホテル

②支部セミナーの開催

令和4年6月予定

名古屋観光ホテル

テーマ：未定

③優良社員表彰式

令和5年2月予定

名古屋観光ホテル

④学校給食調理従事者に対するセミナー

時期、場所：未定

⑤支部独自の勉強会の開催

時期、場所、内容：未定

⑥第9回「心に残る給食の思い出」作文コンクールの実施

⑦協賛会社との交流会

懇親会の開催（令和4年6月、令和5年2月の支部会議にあわせて名古屋観光ホテルで開催及び令和4年11月に開催：場所等未定）

⑧支部独自の事業

中部経済新聞への広告を掲載

(4) 関西支部

①支部会議の開催

令和4年6月予定

場所未定

令和5年2月予定

場所未定

②支部セミナーの開催

令和4年6月予定

場所未定

テーマ：未定

③優良社員表彰式

令和5年2月予定

場所未定

④学校給食調理従事者に対するセミナー

令和4年8月から令和5年3月 1府6県で7回の開催を予定

⑤第9回「心に残る給食の思い出」作文コンクールの実施

⑥支部独自の勉強会の開催

令和5年3月予定 勉強会の内容：人事労務問題関連についてを予定

⑦協賛会社との交流会

令和4年6月、令和5年2月 懇親会（支部会議に合わせて年2回実施）及び懇親ゴルフ（令和4年5月、令和4年11月に年2回実施）

⑧支部独自の事業



状況により④のセミナーを関西支部主催で動画配信する

(5) 西日本支部

①支部会議の開催

令和4年6月3日(金) 博多料亭 稚加榮  
令和5年2月予定 ホテル日航福岡

②支部セミナーの開催

令和4年6月予定 場所未定  
テーマ：未定

③優良社員表彰式

令和5年2月予定 ホテル日航福岡

④学校給食調理従事者に対するセミナー

令和4年8月予定 場所：未定

⑤第9回「心に残る給食の思い出」作文コンクールの実施

⑥支部独自の勉強会の開催

時期、場所：未定  
内容：「心に残る給食の思い出」作文コンクールについて

⑦協賛会社との交流会

令和4年11月予定 懇親会及び懇親ゴルフ(場所：未定)

4. 会員の協力

各種調査等への協力

① 協会が行う各種調査への協力

② 行政庁及び関連団体の行う調査への協力

③ 行政庁の施策への協力

原産地表示、栄養バランスガイド、コンプライアンス、食品リサイクル等

5. 関連団体との協力

① 食の安全・安心、健康等に関する情報交換

② 相互信頼関係の確立

③ 行政庁及び関連団体との事業推進への参画と協力

令和4年度 収支予算書(正味財産増減計算書予算内訳表)総括表  
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計 公1	収益事業等会計			法人会計	当 年 度 予 算 額 (A)	前 年 度 予 算 額 (B)	差 額 (A-B)
		他1	他2	小 計				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
受取入会金	52,000	0	0	0	0	52,000	52,000	0
受取会費	42,090,000	0	0	0	29,550,000	71,640,000	72,254,000	△ 614,000
受取会費	36,933,000	0	0	0	29,019,000	65,952,000	66,528,000	△ 576,000
受取支部運営費	531,000	0	0	0	531,000	1,062,000	1,100,000	△ 38,000
受取協賛費	4,626,000	0	0	0	0	4,626,000	4,626,000	0
事業収益	25,265,000	5,610,000	612,000	6,222,000	0	31,487,000	30,139,000	1,348,000
資格認定事業収益	19,495,000	0	0	0	0	19,495,000	20,183,000	△ 688,000
講習・研修事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0
啓発・普及事業収益	5,770,000	0	0	0	0	5,770,000	3,734,000	2,036,000
給食業務安定継続物産販売事業収益	0					0	0	0
業務代行保証事業収益	0	0	612,000	612,000	0	612,000	612,000	0
優良社員表彰収益	0	5,610,000	0	5,610,000	0	5,610,000	5,610,000	0
雑収益	5,000	0	0	0	5,000	10,000	10,000	0
受取利息	5,000	0	0	0	5,000	10,000	10,000	0
経常収益計	67,412,000	5,610,000	612,000	6,222,000	29,555,000	103,189,000	102,455,000	734,000
(2) 経常費用								
事業費	69,771,000	5,610,000	941,000	6,551,000	0	76,322,000	77,662,000	△ 1,340,000
資格認定事業費	11,034,000	0	0	0	0	11,034,000	13,168,000	△ 2,134,000
講習・研修事業費	165,000	0	0	0	0	165,000	765,000	△ 600,000
啓発・普及事業費	11,840,000	0	0	0	0	11,840,000	11,901,000	△ 61,000
調査広報情報事業費	2,713,000	0	0	0	0	2,713,000	3,656,000	△ 943,000
給食業務安定継続物産販売事業費	0					0	0	0
業務代行保証事業費	0	0	600,000	600,000	0	600,000	600,000	0
優良社員表彰	0	5,610,000	0	5,610,000	0	5,610,000	5,610,000	0
役員報酬	6,476,000	0	341,000	341,000	0	6,817,000	8,018,000	△ 1,201,000
給料手当	16,984,000	0	0	0	0	16,984,000	13,373,000	3,611,000
退職給付費用	1,932,000	0	0	0	0	1,932,000	2,364,000	△ 432,000
福利厚生費	3,702,000	0	0	0	0	3,702,000	3,120,000	582,000
旅費交通費	60,000	0	0	0	0	60,000	60,000	0
通信運搬費	1,650,000	0	0	0	0	1,650,000	1,655,000	△ 5,000
消耗什器備品費	1,248,000	0	0	0	0	1,248,000	1,324,000	△ 76,000
消耗品費	1,143,000	0	0	0	0	1,143,000	1,143,000	0
賃借料	8,917,000	0	0	0	0	8,917,000	9,042,000	△ 125,000
租税公課	1,487,000	0	0	0	0	1,487,000	1,443,000	44,000
減価償却費	123,000	0	0	0	0	123,000	123,000	0
雑費	297,000	0	0	0	0	297,000	297,000	0

科 目	公益目的事業会計 公1	収益事業等会計			法人会計	当 年 度 予 算 額 (A)	前 年 度 予 算 額 (B)	差 額 (A-B)
		他1	他2	小 計				
管理費	0	0	0	0	26,273,000	26,273,000	23,768,000	2,505,000
役員報酬	0	0	0	0	2,272,000	2,272,000	2,293,000	△ 21,000
給料手当	0	0	0	0	6,028,000	6,028,000	4,067,000	1,961,000
退職給付費用	0	0	0	0	644,000	644,000	788,000	△ 144,000
福利厚生費	0	0	0	0	1,234,000	1,234,000	1,040,000	194,000
会議費	0	0	0	0	6,766,000	6,766,000	6,166,000	600,000
旅費交通費	0	0	0	0	2,738,000	2,738,000	2,738,000	0
通信運搬費	0	0	0	0	891,000	891,000	891,000	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	672,000	672,000	713,000	△ 41,000
消耗品費	0	0	0	0	481,000	481,000	481,000	0
賃借料	0	0	0	0	2,550,000	2,550,000	2,592,000	△ 42,000
諸謝金	0	0	0	0	1,160,000	1,160,000	1,162,000	△ 2,000
租税公課	0	0	0	0	37,000	37,000	37,000	0
諸会費	0	0	0	0	660,000	660,000	660,000	0
減価償却費	0	0	0	0	41,000	41,000	41,000	0
雑費	0	0	0	0	99,000	99,000	99,000	0
経常費用計	69,771,000	5,610,000	941,000	6,551,000	26,273,000	102,595,000	101,430,000	1,165,000
当期経常増減額	△ 2,359,000	0	△ 329,000	△ 329,000	3,282,000	594,000	1,025,000	△ 431,000
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所移転・関連費用	0				0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,359,000	0	△ 329,000	△ 329,000	3,282,000	594,000	1,025,000	△ 431,000
一般正味財産期首残高	0			0	0	47,104,382	46,079,382	1,025,000
一般正味財産期末残高	0			0	0	47,698,382	47,104,382	594,000
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0			0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0			0	0	47,698,382	46,079,382	594,000

(注)資金調達及び設備投資の見込みについて

(1)資金調達の見込について

当期中における借入の予定…………… なし